

R8年度 学校図書館年間活動計画：包括的概要と戦略的分析

エグゼクティブ・サマリー

本文書は、令和8年度における学校図書館の年間活動計画を詳細に分析し、その戦略的な取り組みをまとめたものである。

本計画の核心は、単なる図書の貸出業務にとどまらず、**「利用指導による基盤構築」「学習活動との連動」「読書意欲を喚起するイベント展開」**の3軸を中心に構成されている。特に、4月のオリエンテーションを通じた情報リテラシーの育成に始まり、読書週間やコンクール、地域ボランティアとの連携、さらには「食育」といった教科横断的な視点を取り入れることで、学校教育における図書館の役割を多角的に最大化することを目指している。

1. 導入期と基盤整備（4月）

年度初めは、図書館の円滑な運用を可能にするための環境整備と、生徒・児童の自律的な利用を促すための基礎指導に重点が置かれている。

- **図書館オリエンテーションの実施:** 利用マナーの周知に加え、日本十進分類法（NDC）の紹介や蔵書構成の解説を行い、情報探索能力の基礎を養う。
- **管理体制の確立:** 個人カードの作成、図書委員会へのカウンター当番等の指導、および各教室への学級文庫の貸出を開始する。
- **広報活動:** 「図書館だより」の発行を通じて、開館に向けた情報発信を行う。

2. 利用促進と学習支援の展開（5月・6月・11月）

図書館を「学習の拠点」として機能させるため、授業との並行読書や調べ学習への積極的な関与が図られる。

- **蔵書構成の最適化:** 購入希望図書のアンケートを実施し、利用者のニーズを反映した選書を行う。
- **教育課程との連携:**
 - 並行読書や調べ学習における図書館利用の促進。
 - 学習内容や季節に関連した特設コーナーの設置。
- **委員会による活性化策:** 「よんでミッション」や「おすすめ本の紹介」といった、図書委員会主導のイベントを開催し、貸出数の増加を図る。

3. 長期休暇に向けた支援と発展的学習（7月・12月）

休暇期間を「読書の幅を広げる機会」および「探究学習の場」として位置づけ、具体的な指針を提供する。

- **夏季・冬季の読書支援:**
 - 長期休暇向けの「おすすめ本コーナー」の設置。
 - 読書記録の作成・配布による継続的な読書の推奨。
- **探究学習の指導:** 7月には「図書館を使った調べるコンクール」に向けた具体的な指導を実施する。
- **地域・行政施策との連携:** 「清瀬の100冊 読書感想文コンクール」の紹介を行い、外部の読書活動への参加を促す。

4. 読書意欲の喚起と深化（9月・10月・1月・2月）

秋と冬の「読書週間」を核として、読書文化を学校全体に浸透させるための集中的な取り組みが行われる。

- **多角的な広報とイベント:**
 - 図書委員会による「読み聞かせ」イベントの実施。
 - 新刊コーナーの設置による鮮度の高い情報の提供。
- **教科・食育との連携:** 9月・10月には、給食（食育）と関連させた本の紹介を行い、生活に密着した読書体験を創出する。
- **教職員の関与:** 1月・2月には「先生たちのおすすめ本コーナー」を設置し、生徒だけでなく教職員を含めた学校全体の読書意識を高める。

5. 年間活動の総括と次年度への継承（3月）

年度末には、活動の振り返りと次年度に向けた資産の整理が行われる。

- **評価と反省:** 年間の活動実績を振り返り、次年度の計画策定に反映させる。
- **蔵書・資料の管理:** 学級文庫の回収および蔵書整理を行い、物理的な環境維持に努める。

6. 年間スケジュール一覧

期間	主要な取り組み	特筆すべき取り組み例
4月	図書館開館準備・オリエンテーション	利用指導、十進分類法の紹介、学級文庫貸出
5-6月	貸出数増加・授業利用の促進	購入希望アンケート、よんでミッション、学習関連コーナー
7月	夏休みの読書支援・蔵書点検準備	調べるコンクール指導、清瀬の100冊紹介、蔵書整理

9-10月	読書週間の実施	読み聞かせ、食育（給食）関連本の紹介、新刊コーナー
11月	貸出数増加・授業利用の促進	並行読書・調べ学習支援、季節のコーナー設置
12月	冬休みの読書支援	おすすめ本コーナー設置、読書記録の配布
1-2月	読書週間の実施	先生のおすすめ本コーナー、委員会イベント
3月	年間活動の反省・次年度準備	学級文庫の返却、蔵書整理

7. 継続的・横断的活動

特定の月にとどまらず、年間を通じて実施される活動は、学校図書館の日常的な価値を支えている。

- **地域連携:** 地域ボランティアによる「朝の読み聞かせ」を月2～3回実施し、外部リソースを取り入れた豊かな読書環境を構築している。
- **習慣化の徹底:** 毎朝 8:20～8:40 の「朝読書」の時間を設定し、全校を挙げて読書を習慣化する仕組みを構築している。
- **組織的運用:** 図書委員会による定期的なカウンター当番や、継続的な広報活動が計画に組

